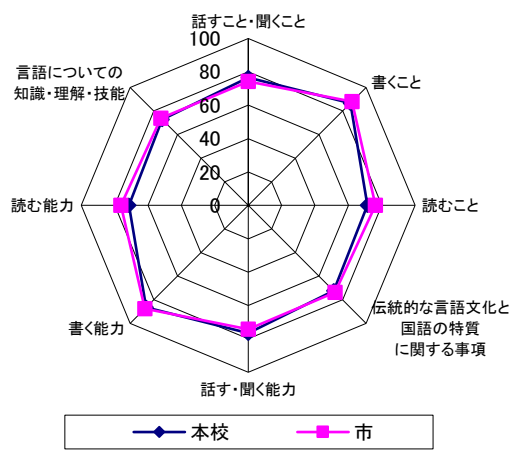


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	76.6	74.2	68.8
	書くこと	86.6	88.0	73.8
	読むこと	71.4	76.2	71.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.5	73.6	68.8
観点別	話す・聞く能力	76.6	74.2	68.8
	書く能力	86.5	87.5	73.8
	読む能力	71.4	76.2	71.7
	言語についての知識・理解・技能	72.8	74.0	68.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話すこと・聞くことの観点別の正答率は、市平均を2.4ポイント上回っている。 ○「質問に対して根拠を明確にして聞き取ることができる」という問題は、約85%の正答率であり、市平均を2.2ポイント上回る。 ●「話の内容を正確に聞き取る」「聞き手に理解してもらうための話し手の工夫を聞き取る」という問題の正答率は、市平均を上回っているものの、正答率は7割に達していない。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・聞き手に自分の意見が正確に伝わるように、話の論理的な構成や展開を考えて話すよう指導をしていく。また、発言の要旨を捉えられるよう、事実と意見の違いなどに注意して聞き取れるよう指導していく。 ・定期的に聞き取りテストを実施し、話の要点や要旨を的確に把握できるように指導していく。
書くこと	●書くことの観点別の平均正答率は、市の平均を1.4ポイント下回っている。 ○「自分の立場を明確にして書くことができる」という問題の正答率は、市の平均を1.3ポイント上回り、正答率も95%を超える。 ●上記の問題以外の正答率は、市平均を0.9ポイント～2.8ポイント下回っている。	・与えられた課題について、どのように自分の考えをまとめて書いていけばよいか等、授業の中で継続的に指導していく。 ・ワークシート等に自分の意見を書く場合、考えの根拠を明確にし、自分とは違う立場の意見を踏まえた文章の構成を考えさせたい。
読むこと	●読むことの観点別の平均正答率は、市の平均を4.8ポイント下回っている。 ・「文学作品についての文章の表現の特徴を捉えることができる」という問題の正答率は、市平均と同程度である。 ●説明文について文章の構成や要旨を捉える問題の正答率は、市平均を4.8ポイント下回っている。 ●文学作品について登場人物の人物像を捉える問題の正答率は、市正答率を8.8ポイント下回っている。	・説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取ることができるよう接続詞の働きなどに注意しながら指導していく。 ・文学的文章の内容理解については、特に登場人物の心情の読み取りが的確にできるよう指導していく。多くの文学作品に触れさせ、様々な考え方や捉え方があることに気づかせていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●言語についての知識・理解・技能の観点別の正答率は、市の平均を1.2ポイント下回っている。 ○漢字を書く問題についての正答率は、4問全てで市平均を上回っている。 ●文法における敬語の問題の正答率は、市平均を7.3ポイント下回り、50%以下の正答率である。	・漢字の読み書きに関しては、定期的な漢字テストの実施等で、基礎的な力の育成を継続して行っていきたい。また、普段の生活においても、学習した漢字を意識的に使うよう指導する。 ・文法問題に関しては、用言の活用や助動詞の見分け方など難易度が高い問題の理解はもちろんのこと、単語や文節、品詞の区別等基本的なものも、繰り返し指導していく必要がある。また、敬語に関しては、日常会話で使われる例を示しながら、尊敬語と謙譲語の違いについて、繰り返し指導していく。